

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第4区分

【発行日】平成22年3月11日(2010.3.11)

【公開番号】特開2009-110655(P2009-110655A)

【公開日】平成21年5月21日(2009.5.21)

【年通号数】公開・登録公報2009-020

【出願番号】特願2008-329026(P2008-329026)

【国際特許分類】

G 11 B 7/0045 (2006.01)

G 11 B 7/125 (2006.01)

【F I】

G 11 B 7/0045 B

G 11 B 7/125 C

【手続補正書】

【提出日】平成22年1月26日(2010.1.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

情報記録媒体に対し、所定のライトストラテジを用いて記録符号を記録する情報記録方法において、

前記情報記録媒体に、複数の奇数長マークと複数の偶数長マークとがランダムに配置されて構成されたランダム信号を記録し、

当該ランダム信号の再生信号を、前記奇数長マークに対応する再生信号と前記偶数長マークに対応する再生信号とに弁別し、

当該弁別された再生信号をもとに、前記ライトストラテジを構成する記録パルスの位置条件を設定することを特徴とする情報記録方法。

【請求項2】

請求項1に記載の情報記録方法において、

前記奇数長マークに対応する再生信号を用いて、前記ライトストラテジを構成する記録パルスのうち、奇数長マークを記録する際に使用する記録パルスの位置条件を設定し、

前記偶数長マークに対応する再生信号を用いて、前記ライトストラテジを構成する記録パルスのうち、偶数長マークを記録する際に使用する記録パルスの位置条件を設定することを特徴とする情報記録方法。

【請求項3】

請求項2に記載の情報記録方法において、

前記設定された偶数長マーク用の記録パルスの始端パルス照射開始位置と、奇数長マーク用の記録パルスの始端パルス照射開始位置とを更に調整することを特徴とする情報記録方法。

【請求項4】

請求項1に記載の情報記録方法において、

前記ライトストラテジとして、nを自然数、検出窓幅をTとしてnT系ライトストラテジと表現されるライトストラテジを用い、

前記ランダム信号の再生信号を、前記nを2以上の整数で除算した剰余と前記Tの積で表現されるマーク長のマークに対する再生信号毎に弁別し、

当該弁別された再生信号をもとに、前記剩余と前記 T の積で表現されるマーク長のマークを記録するために使用される記録パルスの位置条件を設定することを特徴とする情報記録方法。

【請求項 5】

請求項 4 に記載の情報記録方法において、
前記 $n T$ 系ライトストラテジとして、3 T 系ライトストラテジまたは 4 T 系ライトストラテジを用いることを特徴とする情報記録方法。

【請求項 6】

情報記録媒体に対し、所定のライトストラテジを用いて記録符号を記録する際の記録条件を設定するための試し書き方法であって、

前記情報記録媒体に、複数の奇数長マークと複数の偶数長マークとがランダムに配置されて構成されたランダム信号を記録し、

当該ランダム信号の再生信号を、前記奇数長マークに対応する再生信号と前記偶数長マークに対応する再生信号とに弁別し、

当該弁別された再生信号をもとに、前記ライトストラテジを構成する記録パルスの位置条件を設定することを特徴とする試し書き方法。

【請求項 7】

情報記録媒体に対し、所定のライトストラテジを用いて記録符号を記録する際の記録条件を設定するための試し書き方法であって、

n を 2 以上の自然数、 T を基準クロック周期、 L をパルス照射回数としたときに、 $n T = 2 L T$ マークと $n T = (2 L + 1)$ マークの関係を満たし、

偶数長マークを記録する記録波形の先頭パルスの立ち上がり位置と、奇数長マークを記録する記録波形の先頭パルスの立ち上がり位置とは、異なっており、

前記偶数長マークを記録する記録波形の先頭パルスに続く 2 つめのそれぞれのパルスは、基準クロックに対して同一の位置にあり、かつ同一形状のパルス波形であり、

前記奇数長マークを記録する記録波形の先頭パルスに続く 2 つめのそれぞれのパルスは、基準クロックに対して同一の位置にあり、かつ同一形状のパルス波形である記録波形を用いて、前記試し書きを行うことを特徴とする試し書き方法。